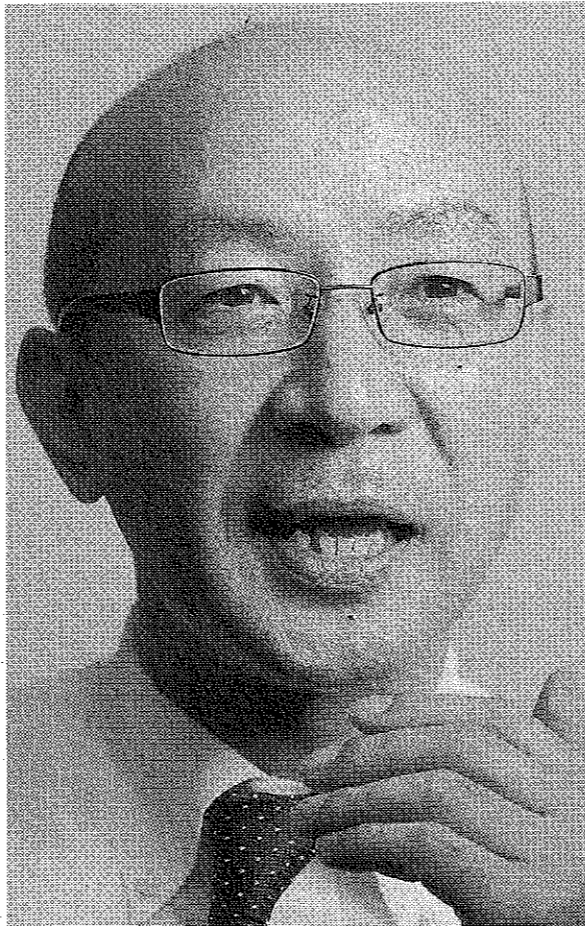


### 横浜ニューテアトル社長兼支配人 長谷川喜行さん



# 「ザ・コーヴ」問題

## 時流(自流) この人が語る

横浜市中区のイセザキモール一角。ミニシアター「横浜ニューテアトル」では午後10時半近くまで、翌3日に公開が迫った米映画「ザ・コーヴ」の上映準備に追われていた。支配人は、半開きのシャッターから漏れる明かりを背にたばこに火をともした。

「明日から何が起きるのだろうと思うと、不安。想像すると悪い方に考えてしまう」。心情を煙とともに吐き出した。

当初から公開を決めていた全国26館の一つ。ところが6月4日に都内2館が上映の自粛を決定。その直後

から右派団体による街宣活動が横浜に集中した。狙いは「最初に名乗り出た映画館を上映中止に追い込むため」(映画製作関係者)とされる。

執拗なまでの街宣活動は今回が初めてではない。映画「靖国YASUKUNI」の上映を控えた2008年には右翼が街宣車で乗り付けた。「連日のように30回以上は来た」。周辺店舗への影響を配慮し、上映中止を決めざるを得なかった。

状況は似ているが、「抗議する人間の意図が見えない点」が、靖国の時と違う。主に市民で構成する右派団体はネット上で街宣予告して参加者を募る。その活動の映像をネットで公開している。

抗議活動が始まった。突然の激しい抗議に家族が巻き込まれ、その映像がネットでさらされた。11日には映画館前でも抗議活動が行われた。「仮処分の申し立ては結果的に団体をあおる形となった」とやるせなさを感ずる。

なぜ、そうまでして上映したのか。

映画の内容を支持する人物として、あるいは表現の自由の象徴として見られがちだが、実情は違う。上映を決めたのは、映画館生き残りのため。経営者として従業員的生活を守るためだ。

「ザ・コーヴ」がアカデミー賞長編ドキュメンタリー賞を受賞した今年3月に、配給会社に打診して早々に公開スケジュールを決めた。夏休みは正月とともに書き入れ時だ。

「受賞作を上映できるのはラッキーだった」。当初からさまざまな指摘がな

映画館側の申し立てに、横浜地裁は団体に対して映画館周辺での大声など、営業妨害行為となる街宣活動を禁じる仮処分を決定。ところが直後から、自宅での

「ザ・コーヴ」がアカデミー賞長編ドキュメンタリー賞を受賞した今年3月に、配給会社に打診して早々に公開スケジュールを決めた。夏休みは正月とともに書き入れ時だ。

「受賞作を上映できるのはラッキーだった」。当初からさまざまな指摘がな

れていたが、「話題作で観客動員が期待できる映画を上映していかねばミニシアターは生き残れない」と言い切る。

ミニシアターの多くは苦戦し、廃館が相次いでいる。横浜ニューテアトルは、アルバイト1人とパート2人を加えた4人が力を合わせて、辛うじて運営している。3期連続で赤字を計上し経営は苦しい。

「映画は商品。自分たちが生きていくために歯を食いしばりながら上映スケジュールを懸命にこなしていくしかない」

ミニシアターが苦戦して

はせがわ・よしゆき 三浦市生まれ。立教大学経済学部卒。商社と小売業を経て1987年から父親が経営するミニシアターで勤務。97年から現職。48歳。

いる背景の一つには、大手資本のシネマコンプレックス(複合型映画館)が増えたことにある。横浜市内でもスクリーンが急増し、これまでミニシアターで上映してきた映画をシネコンが率先して流すようになった。

それだけではない。「全国で一斉に公開されるため、映画の寿命が年々短くなっている」。その結果、動員数が見込める映画の争奪戦がミニシアター間でも始まるようになっている。

かつて映画館が軒を並べた伊勢佐木町周辺では、いまや3館が残るだけとなった。「ミニシアター同士が連携できるかが、将来も継続できるかの鍵になる」と考える。

今回の上映中止をめぐる動きをどう見るか。「営業妨害を許していたら、映画館によっては倒産を招きかねない。毅然とした態度で上映する姿勢を示すしかない」。映画興行の現状を知ってもらう機会になることを期待している。

かつて映画館が軒を並べた伊勢佐木町周辺では、いまや3館が残るだけとなった。「ミニシアター同士が連携できるかが、将来も継続できるかの鍵になる」と考える。

今回の上映中止をめぐる動きをどう見るか。「営業妨害を許していたら、映画館によっては倒産を招きかねない。毅然とした態度で上映する姿勢を示すしかない」。映画興行の現状を知ってもらう機会になることを期待している。

◆映画「ザ・コーヴ」上映問題  
和歌山県太地町のイルカ漁を撮影した米ドキュメンタリー映画。右派団体は「反日的

であり「事実誤認がある」と主張している。横浜ニューテアトルでは8月20日まで上映する予定。

## 「上映するのは映画館として生き残るため」

文=三木 崇 写真=木田 亜紀彦